



整然と整備された水田

白線が水田の畦^{あぜ}です。整然と水田の区画が並んでいる様子を理解できます。調査区を縦断するように見える溝状の落ち込みは、土石流が流れた痕（矢印部分）です。水田の区画を断ち切っていることから、この土石流災害によって水田の一部が切り取られたと考えられます。また、この土石流によって運ばれた砂利に水田が覆われたことから、良好な状態で当時の水田を検出することができました。



整然と整備された水田

遺跡は扇状地という緩やかな傾斜地にあるため、上の水田から下の水田へと水を送るように築かれたようです。水を落とすためにあえて畦を切った部分（水口^{みなくち}）があり、その下は水の流れによって浸食され、窪地となっていました。